

施策	6303 新たな付加価値の創造						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	来客者						
施策が目指す姿	新たな地域ブランドの認定、地元農産物を活用したグルメ商品の開発、滞在・体験型観光の推進等を図る。						
成果指標	来客者一人あたりの消費額 現状値 1,855円 H29年度目標値 2,055円						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [円]	予定	1,855.00	1,905.00	1,955.00	2,005.00	2,055.00
		実績	0.00	0.00			
	成果指標2 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	20,973	25,178	0	0	0	
	実績	20,973	25,745			0	
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「観光客入込数」を現状値から目標値に向上させるためには、観光資源等に付加価値を付け観光意欲を喚起することが必要なため本単位施策の貢献度は高い。					
	達成状況	本年度は観光動向調査を行っていない。計画最終年度前には市民意識、観光事業者意識調査も実施して実績値を把握する。小江戸ブランドに岩舟ブランドを加え62品目とした。					
	課題	農商工連携による新たな商品開発や滞在時間を延ばすための観光施策を展開する必要がある。					
	取組方針	市中心部に整備した栃木アンテナショップまちの駅「コエド市場」を最大限活用し、新たな土産品等の商品開発を検討する。また地域の特性を活かした体験型観光を推進する。					
外 部 評 価	本施策の成果指標以外に、成果を押し量ることのできる指標を別途、設定のうえ進捗管理を行い、来年度の内部評価において示されたい。 また、市の施策として観光振興に力を入れるならば、一度はきちんとしたマーケティング調査を実施すること。 他の施策でも提案した若者の異業種交流の場を創設する際に、一つの検討テーマとして新たな観光資源の発掘や情報発信について意見交換を行い、下位事務事業へ反映すること。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	314901	栃木市ブランド推進協議会交付金				10,000	100
	315706	いわふねブランド創生事業費				1,610	100
	702101	渡良瀬遊水地ハートランド事業費				14,135	100
	721301	観光情報物産館管理運営費					0

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	070104	予算事業コード	314901	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	栃木市ブランド推進協議会交付金										主	6303	観光レクリエーションの振興	新たな付加価値の創造			
担当部課 係・担当チーム名	産業振興部 商工観光課 観光企画チーム					担当者	中田 雅士		従								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H24 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	14,900	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 栃木市ブランド推進協議会へ交付金を支出する。 【主要事業】								達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市内の地域資源及び地域の特性を活かし、消費者志向に対応する特産品、農作物及び観光資源等を本市の新地域ブランドとして認定し、県内外に情報を発信することにより、本市の知名度向上、産業の振興及び地域の活性化を図る。							
									成果目標	来客者一人あたりの消費額 現状値 1,855円 H29年度目標値 2,055円							

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込									
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成26年度 【事業の内容】 ・地域ブランドの認定 ・地域ブランドのPR 【成果】 ・新地域ブランドとして15品認定し、62品のブランド品として、更なる充実を図った。 ・ブランドパンフレットを3万部制作した。 ・跡見学園女子大学と連携し、SNSを活用し県内外に情報を発信する事業を行った。							
	県支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他特財	2,500	2,000									
	一般財源	0	400									
	事業費 a	2,500	2,400									
	人件費 b	7,500	6,000									
減価償却費 c	0	0	平成27年度									
総事業費 a+b+c	10,000	8,400	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	5,632,285.00	5,300,000.00	観光客入込数	年間観光客総入込数 平成26年目標値 520万人	人/年							
結果指標 2												

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	<ul style="list-style-type: none"> ・岩舟地域にある「いわふねブランド」と「とちぎ小江戸ブランド」の再編を検討する。 ・ブランドの認知度向上を図るため、イベントの実施等を検討する。 ・地域資源のブランド化も検討する。 											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--